

第3単元 わり算①

| 問題番号 | 配点              | 解 答  | 評価規準                                 | つまずきと指導の手だて  |
|------|-----------------|--|--------------------------------------|--|
| ①    | 60<br>(各5)      | ① 8    ② 6<br>③ 3    ④ 6<br>⑤ 5    ⑥ 9<br>⑦ 7    ⑧ 2<br>⑨ 1    ⑩ 6<br>⑪ 0    ⑫ 0 | 知技 乗法九九を用いて、除法の答えを求めることができる。         | まず、何の段の九九を用いれば答えが求められるかを考えさせ、その段の九九で答えが被除数になるものを見つけるようにする。 |
| ②    | 20<br>(各10)     | ① 6    ② 8   | 知技 除法の答えは、除数の段の九九を使えば求められることを理解している。 | 等分除でも包含除でも除法の式になり、その答えは除数の段の九九で見つけられることを、具体的な場面を通してとらえさせる。 |
| ③    | ①<br>10<br>(各5) | 式 $24 \div 4 = 6$<br>答 6こ  | 知技 場面に応じた立式ができる、問題を解決することができる。       | 正しく立式できない児童には、場面の様子を絵や図などに表してから考えさせる。                      |
|      | ②<br>10<br>(各5) | 式 $24 \div 8 = 3$<br>答 3ふくろ  |                                      |  |

第3単元 わり算②

| 問題番号 | 解 答               | 評価規準                               | つまずきと指導の手だて   |
|------|-------------------|------------------------------------|---|
| ①    | ① イ    ② ア<br>③ イ | 思判表 数量の関係を考え、等分除と包含除の場面を図からとらえている。 | 問題の意味が理解できない児童には、具体物などを実際に操作しながら、等分除と包含除の違いを考えさせるようにする。 |
| ②    | アとウに○             | 思判表 数量の關係に着目し、除法の式に合う問題を選択している。    | 式の場面をとらえさせるために、絵や図に表して考えさせる。                            |

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

| 評価  | A    | B    | C    |
|-----|------|------|------|
| 正答数 | 4問以上 | 3～2問 | 1～0問 |

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

| 評価           | A                                       | B   | C                                  |
|--------------|---|---|------------------------------------|
| 選択内容<br>記述内容 | 3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。 | 3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。 | どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。 |